



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年2月5日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ (氏名) クリストファー・ホフマン TEL 06-4802-9360

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	173,210	2.7	35,082	0.1	25,655	△2.2	25,663	△2.1	63.06	62.87
2018年3月期第3四半期	168,592	11.9	35,042	6.0	26,231	6.7	26,216	6.6	64.52	64.28

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	173,210	2.7	33,657	11.9	32,405	9.7	23,367	△14.6	23,376	△14.5	21,732	△37.2
2018年3月期第3四半期	168,592	11.9	30,087	9.5	29,539	23.5	27,348	59.3	27,332	59.2	34,602	96.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	57.44	57.26
2018年3月期第3四半期	67.27	67.02

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	388,284	298,769	297,122	76.5	729.98		
2018年3月期	388,463	287,557	285,823	73.6	702.54		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2019年3月期	-	13.00	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	-	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.4	48,000	5.8	35,300	5.5	87.26

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.4	40,700	5.2	41,300	5.2	30,400	△13.8	75.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	407,102,254株	2018年3月期	406,847,515株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	7,821株	2018年3月期	7,411株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	406,966,797株	2018年3月期3Q	406,304,134株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年2月5日(火)に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(その他の収益) .....	14
(法人所得税費用) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
3. 連結参考資料 .....	15
(1) 主要製品売上収益 .....	15
(2) 医薬品開発状況 .....	16
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費 .....	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	168,592	173,210	2.7%
コア営業利益	35,042	35,082	0.1%
コア四半期利益	26,231	25,655	△2.2%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	26,216	25,663	△2.1%

[売上収益]

前年同期と比べ2.7%増加し、1,732億円となりました。

主力の国内医療用医薬品事業においては、流通における一過性の在庫調整および薬価改定などの影響により前年同期と比べ減収となりましたが、海外事業においてはEMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・アジアで当社製品は順調に市場浸透し、高い成長率を維持しています。

事業別の状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	国内		海外		合計	
	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率
医療用医薬品	104,038	△0.9%	55,165	11.3%	159,203	3.0%
一般用医薬品	11,014	△3.5%	216	4.7%	11,230	△3.3%
医療機器	1,913	2.6%	59	147.7%	1,972	4.4%
その他	738	38.2%	67	142.8%	806	43.3%
合計	117,702	△0.9%	55,508	11.4%	173,210	2.7%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

<医療用医薬品>

◇国内

前年同期と比べ0.9%減少し、1,040億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

- ・ 緑内障・高眼圧症治療剤領域
  - 「タプロス点眼液」 75億円（対前年同期増減率 △0.8%）
  - 「タプロム配合点眼液」 20億円（対前年同期増減率 +2.5%）
  - 「コソプト配合点眼液」 72億円（対前年同期増減率 △20.0%）
- ・ 角結膜疾患治療剤領域
  - 「ヒアレイン点眼液」 69億円（対前年同期増減率 △20.2%）
  - 「ジクアス点眼液」 108億円（対前年同期増減率 +8.5%）
- ・ 抗アレルギー点眼剤領域
  - 「アレジオン点眼液」 77億円（対前年同期増減率 +2.5%）
- ・ 網膜疾患治療剤領域
  - 「アイリーア硝子体内注射液 ※2」 438億円（対前年同期増減率 +9.4%）

◇海外

EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ1.7%増加し、270億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域		
「タプロス点眼液」	48億円	（対前年同期増減率 △ 0.2%）
「タプコム配合点眼液」	14億円	（対前年同期増減率 +53.7%）
「コソプト配合点眼液」	69億円	（対前年同期増減率 △ 2.6%）
「トルソプト点眼液」	20億円	（対前年同期増減率 △ 3.5%）
・角結膜疾患治療剤領域		
「アイケルビス」	21億円	（対前年同期増減率 +26.2%）

アジア

円換算ベースで前年同期と比べ22.3%増加し、278億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域		
「ヒアレイン点眼液」	80億円	（対前年同期増減率 +47.3%）
「クラビット点眼液」	78億円	（対前年同期増減率 +14.3%）

<一般用医薬品>

前年同期と比べ3.3%減少し、112億円となりました。

「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ4.4%増加し、20億円となりました。

高屈折率のアクリル素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティ」シリーズの普及促進活動に引き続き注力しています。

<その他>

その他の売上収益は8億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ10億円増加し、1,034億円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ1.1ポイント増加し、40.3%となりました。

販売費及び一般管理費は、海外事業の拡大に伴い、前年同期と比べ17億円増加し、512億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ8億円減少し、171億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ0.1%増加し、351億円となりました。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	168,592	173,210	2.7%
営業利益	30,087	33,657	11.9%
四半期利益	27,348	23,367	△14.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	27,332	23,376	△14.5%

〔売上収益〕

コアベースからの調整はありません。

〔営業利益〕

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ4.7%増加し、52億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、ならびに2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、当社保有の固定資産譲渡などにより39億円、その他の費用は、1億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ11.9%増加し、337億円となりました。

〔親会社の所有者に帰属する四半期利益〕

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ14.5%減少し、234億円となりました。これは、前年同期において米国における連邦法人税率引下げに伴い法人所得税費用が一時的に減少したことによるものです。売上収益に対する親会社の所有者に帰属する四半期利益の比率は、13.5%となりました。

※1 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

② 研究開発活動

＜緑内障・高眼圧症領域＞

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体およびβ遮断剤の配合剤DE-111（一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、2019年1月に中国で第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2018年9月に第Ⅲ相試験を開始しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは2016年12月より第Ⅲ相試験を実施しています。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、2017年7月より米国および日本にて後期第Ⅱ相試験を実施しています。

緑内障用デバイスDE-128（MicroShunt）は、FDA承認取得に向け米国および欧州にて第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施しています（欧州にてCEマーク承認取得済み）。

＜角結膜疾患（ドライアイを含む）領域＞

DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、2018年9月に中国で発売しました。

DE-076B（開発品名：Cyclokat、一般名：シクロスポリン）は、2017年12月以降、タイおよび韓国等、アジアで順次発売しています。

DE-076C（開発品名：Vekacia、一般名：シクロスポリン）は、2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、2018年10月にイギリスで発売しました。アジアでは、2018年11月に販売承認を申請しました。カナダでは、2018年12月に販売承認を取得しました。

＜網膜・ぶどう膜疾患領域＞

DE-109（一般名：シロリムス）は、2018年12月より米国にてぶどう膜炎を対象とした追加の第Ⅲ相試験を実施しています。

DE-122（一般名：carotuximab）は、米国での開発を目指し、2017年7月より滲出型加齢黄斑変性を対象とした前期第Ⅱ相試験を実施しています。

＜その他疾患領域＞

DE-127（一般名：アトロピン硫酸塩）は、2017年11月よりアジアにて近視を対象とする第Ⅱ相試験を実施しています。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、3,883億円となりました。現金及び現金同等物の増加などがあった一方、金融資産および無形資産の減少などにより前期末と比べ2億円減少しました。

資本は、2,988億円となりました。その他の資本の構成要素の減少などがあった一方、利益剰余金の増加などにより前期末と比べ112億円増加しました。

負債は、895億円となりました。借入金の返済などによるその他の金融負債の減少および法人所得税等の支払いによる未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ114億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.9ポイント増加し、76.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、227億円の収入（前年同期は、290億円の収入）となりました。これは四半期利益が234億円、減価償却費及び償却費が82億円および法人所得税費用が90億円などあった一方、法人所得税の支払いが123億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、22億円の支出（前年同期は、62億円の支出）となりました。これは有形固定資産の売却による収入が43億円などあった一方、有形固定資産の取得による支出が45億円、無形資産の取得による支出が22億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、140億円の支出（前年同期は、163億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが105億円、長期借入金の返済による支出が41億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ61億円増加し、754億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2018年5月9日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上収益	168,592	173,210
売上原価	△66,150	△69,814
売上総利益	102,442	103,397
販売費及び一般管理費	△49,504	△51,224
研究開発費	△17,895	△17,091
製品に係る無形資産償却費	△4,996	△5,233
その他の収益	368	3,929
その他の費用	△327	△121
営業利益	30,087	33,657
金融収益	809	863
金融費用	△1,357	△2,115
税引前四半期利益	29,539	32,405
法人所得税費用	△2,192	△9,037
四半期利益	27,348	23,367
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	2,854	△2,733
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	4,400	1,098
その他の包括利益	7,254	△1,635
四半期包括利益合計	34,602	21,732
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	27,332	23,376
非支配持分	15	△8
四半期利益	27,348	23,367
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	34,487	21,819
非支配持分	114	△87
四半期包括利益合計	34,602	21,732
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	67.27	57.44
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	67.02	57.26
※コアベース		
売上収益	168,592	173,210
コア営業利益	35,042	35,082
コア四半期利益	26,231	25,655
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	64.52	63.06
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	64.28	62.87
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	26,216	25,663
非支配持分	15	△8
コア四半期利益	26,231	25,655

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	29,706	31,035
無形資産	134,495	132,725
金融資産	35,775	31,730
繰延税金資産	2,264	2,258
その他の非流動資産	2,855	1,685
非流動資産合計	205,095	199,433
流動資産		
棚卸資産	30,636	31,082
営業債権及びその他の債権	78,654	78,720
その他の金融資産	472	256
その他の流動資産	4,322	3,399
現金及び現金同等物	69,283	75,394
流動資産合計	183,367	188,851
資産合計	388,463	388,284

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,032	8,186
資本剰余金	8,657	8,714
自己株式	△11	△12
利益剰余金	249,225	262,404
その他の資本の構成要素	19,921	17,830
親会社の所有者に帰属する持分合計	285,823	297,122
非支配持分	1,734	1,647
資本合計	287,557	298,769
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	21,244	23,243
退職給付に係る負債	1,804	2,240
引当金	1,367	1,299
繰延税金負債	12,909	12,317
その他の非流動負債	1,380	1,738
非流動負債合計	38,704	40,836
流動負債		
営業債務及びその他の債務	29,743	27,982
その他の金融負債	14,404	9,091
未払法人所得税等	7,656	3,601
引当金	1,508	641
その他の流動負債	8,890	7,365
流動負債合計	62,201	48,679
負債合計	100,905	89,515
資本及び負債合計	388,463	388,284

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2017年4月1日残高	7,792	8,417	△10	223,283	—	9,470
四半期包括利益						
四半期利益				27,332		
その他の包括利益						2,854
四半期包括利益合計	—	—	—	27,332	—	2,854
所有者との取引額						
新株の発行	119	119				
自己株式の取得			△1			
配当金				△10,563		
非支配持分を伴う子会社の資本変動						
株式報酬取引						
その他				168		△168
所有者との取引額合計	119	119	△1	△10,395	—	△168
2017年12月31日残高	7,911	8,536	△11	240,220	—	12,156

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2017年4月1日残高	5,332	825	15,628	255,110	819	255,929
四半期包括利益						
四半期利益			—	27,332	15	27,348
その他の包括利益	4,301		7,155	7,155	99	7,254
四半期包括利益合計	4,301	—	7,155	34,487	114	34,602
所有者との取引額						
新株の発行		△39	△39	200		200
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△10,563		△10,563
非支配持分を伴う子会社の資本変動			—	—	838	838
株式報酬取引		218	218	218		218
その他			△168	—		—
所有者との取引額合計	—	179	11	△10,146	838	△9,308
2017年12月31日残高	9,633	1,004	22,794	279,451	1,772	281,222

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2018年4月1日残高	8,032	8,657	△11	249,225	—	14,364
四半期包括利益						
四半期利益				23,376		
その他の包括利益						△2,733
四半期包括利益合計	—	—	—	23,376	—	△2,733
所有者との取引額						
新株の発行	87	87				
自己株式の取得			△1			
配当金				△10,581		
株式報酬取引	67	△29				
その他				385		△385
所有者との取引額合計	154	57	△1	△10,196	—	△385
2018年12月31日残高	8,186	8,714	△12	262,404	—	11,245

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2018年4月1日残高	4,583	975	19,921	285,823	1,734	287,557
四半期包括利益						
四半期利益			—	23,376	△8	23,367
その他の包括利益	1,177		△1,557	△1,557	△79	△1,635
四半期包括利益合計	1,177	—	△1,557	21,819	△87	21,732
所有者との取引額						
新株の発行		△150	△150	23		23
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△10,581		△10,581
株式報酬取引			—	38		38
その他			△385	—		—
所有者との取引額合計	—	△150	△535	△10,521	—	△10,521
2018年12月31日残高	5,759	825	17,830	297,122	1,647	298,769

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	27,348	23,367
減価償却費及び償却費	8,092	8,223
減損損失	168	—
固定資産処分益	—	△3,592
金融収益及び金融費用（△は益）	△158	△151
法人所得税費用	2,192	9,037
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	△6,560	△370
棚卸資産の増減（△は増加）	2,043	△735
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	617	△1,696
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	346	△380
その他	323	594
小計	34,411	34,297
利息の受取額	68	154
配当金の受取額	580	518
利息の支払額	△24	△7
法人所得税の支払額	△5,990	△12,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,045	22,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△158	△767
投資の売却による収入	514	1,025
有形固定資産の取得による支出	△3,489	△4,468
有形固定資産の売却による収入	—	4,338
無形資産の取得による支出	△3,051	△2,165
その他	△18	△156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,202	△2,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	578
長期借入金の返済による支出	△6,862	△4,098
非支配株主からの払込による収入	838	—
配当金の支払額	△10,471	△10,493
その他	196	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,299	△13,993
現金及び現金同等物の増減額	6,544	6,507
現金及び現金同等物の期首残高	52,282	69,283
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,222	△397
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,048	75,394

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

参天製薬グループでは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

基準書		強制適用時期 (以降開始年度)	参天製薬グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IFRS第9号	金融商品	2018年1月1日	2019年3月期	金融商品の分類及び測定の見直し、減損及びヘッジ会計に関する改訂
IFRS第15号	顧客との契約から生じる収益	2018年1月1日	2019年3月期	収益認識に係る基準の見直し

#### IFRS第9号「金融商品」

参天製薬グループは、これまでIFRS第9号（2010年10月および2011年12月改訂）を適用してきましたが、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号（2014年7月公表版）を適用しています。

#### 金融資産の分類及び測定

IFRS第9号（2014年7月公表版）において、負債性金融商品をその他の包括利益を通じて公正価値で事後測定する区分が新設されましたが、参天製薬グループは、当該金融商品を保有する事業モデルおよび金融商品の契約条件を評価し、以下の要件を共に満たす場合に、その他の包括利益を通じて公正価値で事後測定しています。なお、この分類および測定の変更に関して過年度の連結財務諸表を修正再表示しないことを認める経過措置を適用しています。

- ・事業モデルにおいて、契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的として保有している場合
- ・契約条件により、特定の日に元本および元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローを生じさせる場合

#### 金融資産の減損損失

参天製薬グループは、2018年4月1日より金融資産の減損損失の測定手法を、IAS第39号が規定する発生損失モデルからIFRS第9号が規定する予想信用損失モデルに移行しました。2018年4月1日に移行の経過措置に従い過年度の連結財務諸表の修正は行わず、予想信用損失モデルに基づいて損失評価引当金を測定しています。

#### IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

参天製薬グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第15号を適用しています。この基準書はIAS第18号「収益」およびIAS第11号「工事契約」を置き換えたものです。IFRS第15号は財務諸表の表示を含む収益認識の金額、収益認識の時期を決定する包括的フレームワークを定めています。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

IFRS第15号の適用に伴い、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しています。

- ステップ1：顧客との契約の識別
- ステップ2：履行義務の識別
- ステップ3：取引価格の算定
- ステップ4：履行義務への取引価格の配分
- ステップ5：履行義務の充足による収益認識

これらの基準の適用による参天製薬グループへの影響は軽微です。

(その他の収益)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社保有の固定資産譲渡により、固定資産処分益3,592百万円をその他の収益に計上していません。

(法人所得税費用)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

米国において、2017年12月22日(現地日付)に、2018年1月1日以降の連邦法人税率を35%から21%に引下げることなどを柱とする税制改革法が成立しました。これに伴い、参天製薬グループの米国子会社において、新しい法人税率を用いて繰延税金資産および繰延税金負債を再評価した結果、法人所得税費用が5,105百万円減少しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2018年3月期				2019年3月期			
			第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	11,434	12.8%	14,944	16.0%	11,513	0.7%	15,443	3.3%
		日本	3,369	△11.3%	4,105	△11.9%	2,569	△23.7%	3,415	△16.8%
		アジア	6,820	26.8%	9,225	32.2%	7,794	14.3%	10,154	10.1%
		EMEA	1,245	29.6%	1,614	29.7%	1,150	△7.7%	1,874	16.1%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	1,246	△5.1%	1,581	2.6%	1,129	△9.4%	1,507	△4.7%
		日本	414	△9.2%	508	△9.2%	390	△6.0%	458	△9.8%
		アジア	832	△3.0%	1,073	9.3%	740	△11.1%	1,049	△2.2%
		合計	2,966	42.1%	3,892	39.1%	3,612	21.8%	4,950	27.2%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本	1,953	10.9%	2,479	9.9%	2,002	2.5%	2,454	△1.0%
		アジア	109	438.5%	158	317.6%	221	102.3%	289	82.7%
		EMEA	904	195.1%	1,255	148.8%	1,389	53.7%	2,208	75.9%
		合計	13,791	7.9%	17,844	8.8%	13,942	1.1%	18,883	5.8%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	日本	7,590	△0.2%	9,610	0.2%	7,526	△0.8%	9,686	0.8%
		アジア	1,343	36.6%	1,807	47.3%	1,571	16.9%	3,026	12.1%
		EMEA	4,857	15.9%	6,427	15.0%	4,846	△0.2%	7,171	11.6%
		合計	18,622	9.4%	24,200	9.2%	16,956	△8.9%	21,202	△12.4%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本	9,057	0.7%	11,403	0.3%	7,247	△20.0%	8,957	△21.4%
		アジア	2,440	30.1%	3,197	19.8%	2,769	13.5%	3,117	3.8%
		EMEA	7,125	15.9%	9,600	18.1%	6,939	△2.6%	8,928	△7.0%
		合計	1,183	1.3%	1,451	△3.8%	780	△34.1%	990	△31.8%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本	662	△16.0%	787	△18.7%	398	△39.9%	470	△40.3%
		アジア	86	△4.3%	116	△2.7%	88	2.1%	112	△3.3%
		EMEA	435	50.0%	548	30.1%	295	△32.3%	408	△25.6%
		合計	1,766	△6.6%	2,221	△6.8%	1,485	△15.9%	1,976	△11.0%
チモプトールXE点眼液 (チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障治療剤	日本	1,144	△12.2%	1,407	△12.9%	922	△19.4%	1,203	△14.5%
		アジア	79	20.1%	105	19.1%	82	4.1%	109	3.6%
		EMEA	544	4.2%	709	4.4%	481	△11.6%	664	△6.3%
		合計	3,587	7.3%	4,677	7.7%	3,436	△4.2%	4,547	△2.8%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本	1,325	△4.2%	1,641	△5.2%	1,175	△11.3%	1,446	△11.9%
		アジア	232	11.8%	327	20.9%	300	29.7%	462	41.3%
		EMEA	2,031	15.9%	2,709	15.7%	1,961	△3.5%	2,639	△2.6%
		合計	1,200	△9.2%	1,467	△10.1%	964	△19.6%	1,256	△14.4%
レスキュラ点眼液 (イソプロピルウノプロストン点眼液)	緑内障治療剤	日本	1,200	△9.2%	1,467	△10.1%	964	△19.6%	1,256	△14.4%
		合計	7,515	19.4%	16,851	37.7%	7,703	2.5%	17,727	5.2%
		日本	7,515	19.4%	16,851	37.7%	7,703	2.5%	17,727	5.2%
		合計	2,604	3.4%	3,497	4.5%	2,399	△7.9%	3,141	△10.2%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	日本	1,566	△4.6%	2,113	△5.0%	1,132	△27.7%	1,652	△21.8%
		アジア	1,038	18.2%	1,385	23.2%	1,267	22.0%	1,490	7.6%
		合計	3,518	9.0%	4,413	7.0%	3,199	△9.1%	4,398	△0.3%
		日本	2,187	△3.7%	2,741	△3.2%	2,069	△5.4%	2,644	△3.6%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	アジア	1,331	39.0%	1,672	29.6%	1,130	△15.1%	1,755	4.9%
		合計	2,186	66.6%	2,695	21.2%	1,946	△11.0%	2,800	3.9%
		EMEA	2,186	66.6%	2,695	21.2%	1,946	△11.0%	2,800	3.9%
		合計	1,830	1.8%	2,304	0.8%	1,683	△8.1%	2,109	△8.5%
オペガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	日本	1,830	1.8%	2,304	0.8%	1,683	△8.1%	2,109	△8.5%
		合計	40,010	13.1%	51,517	14.1%	43,790	9.4%	54,473	5.7%
		日本	40,010	13.1%	51,517	14.1%	43,790	9.4%	54,473	5.7%
		合計	14,124	1.6%	18,170	3.3%	14,943	5.8%	17,708	△2.5%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	日本	8,692	△8.8%	10,772	△9.1%	6,939	△20.2%	8,541	△20.7%
		アジア	5,432	24.4%	7,397	28.8%	8,004	47.3%	9,167	23.9%
		合計	11,028	20.7%	14,286	19.6%	11,762	6.7%	16,087	12.6%
		日本	9,937	17.0%	12,822	16.4%	10,784	8.5%	14,463	12.8%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	アジア	1,091	69.6%	1,463	58.3%	978	△10.4%	1,625	11.0%
		合計	1,661	99.2%	2,049	57.2%	2,415	45.4%	2,990	45.9%
		アジア	4	274.2%	68	—	324	—	437	537.6%
		EMEA	1,657	99.0%	1,981	52.2%	2,091	26.2%	2,553	28.9%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	1,638	26.8%	2,092	14.0%	1,873	14.3%	3,196	52.8%
		アジア	176	104.0%	199	72.3%	118	△32.8%	173	△13.2%
		EMEA	1,267	20.0%	1,670	16.1%	1,503	18.7%	2,713	62.5%
		米州	195	30.1%	223	△20.4%	251	28.8%	310	38.8%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	11,618	21.6%	14,594	16.3%	11,230	△3.3%	16,498	13.0%
		日本	11,412	20.6%	14,301	15.1%	11,014	△3.5%	16,144	12.9%
		アジア	207	127.9%	293	121.8%	216	4.7%	355	20.8%
		一般用医薬品	合計	11,618	21.6%	14,594	16.3%	11,230	△3.3%	16,498

(単位: 円)

主要通貨 為替換算レート	通貨	2018年3月期 第3四半期	2018年3月期	2019年3月期 第3四半期	2019年3月期(予想)
	米ドル	111.75	110.94	111.15	110.00
	ユーロ	128.90	129.92	129.51	130.00
	中国元	16.64	16.84	16.57	17.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

(2) 医薬品開発状況

※2019年2月5日現在

■ 医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	中国						2018年9月
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。日本で、2010年12月に発売。2013年10月に韓国、2016年2月にベトナム、2016年4月にタイで発売。アジアで順次販売承認を申請中。中国で、2018年9月に発売。										
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア					2015年4月	
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始、2021年1～6月に終了予定。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	DE-111	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始、2020年度上期に終了予定。										
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガー インゲルハイム	日本						2018年9月
H <sub>1</sub> 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。日本で、2018年9月に製造販売承認を申請、2019年7～12月に承認予定。										
オミデネパグ イソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国						
				日本						2018年11月
				アジア						
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2018年9月にフェーズ3試験を開始、2020年1～6月に終了予定。日本で、2018年11月に発売。アジアで、2016年12月にフェーズ3試験を開始、2018年度下期に終了予定。										
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国						(フェーズ2a)
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。米国での開発を目指し、2017年7月にフェーズ2a試験を開始、2019年度下期に終了予定。										
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						(フェーズ2b)
				日本						(フェーズ2b)
FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国および日本で、2017年7月にフェーズ2b試験を開始。										
アトロピン硫酸塩	DE-127	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。アジアで、2017年11月にフェーズ2試験を開始、2019年度下期に終了予定。										
—	DE-128 (MicroShunt)	緑内障	自社	米国						(フェーズ2/3)
				欧州						
2016年8月に、MicroShuntを開発するInnFocus社を買収。原簿開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。FDA承認取得に向け米国および欧州にて、フェーズ2/3試験を実施中。2019年に市販前承認(PMA)の段階的申請を完了し、2020年に上市予定。欧州にてCEマークの承認を取得済み。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076B (Cyclokat)	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	自社	米国						
				アジア						2017年12月
免疫抑制作用により、ドライアイに伴う重度の角膜炎を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2015年7月以降、ドイツおよびイギリス等、欧州で順次発売。2017年12月以降、タイおよび韓国等、アジアで順次発売。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076C (Vekacia)	春季カタル	自社	欧州						2018年10月
				アジア					2018年11月	
				その他					2018年12月	
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、イギリスで、2018年10月に発売。アジアで、2018年11月に販売承認を申請、2019年7月～12月に承認予定。カナダで、2018年12月に販売承認を取得、2019年に発売予定。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。										

■2018年度第2四半期決算発表時（2018年11月7日）からの変更点

開発コード	変更点
DE-109	米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。
DE-111	中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。
DE-117	日本で、2018年11月に発売。
DE-076C (Vekacia)	アジアで、2018年11月に販売承認を申請。カナダで、2018年12月に販売承認を取得。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	4,460	5,445	5,072	9,000

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	3,095	4,155	2,991	4,260
製造経費	1,445	1,950	1,397	2,040
販売費及び一般管理費	1,076	1,453	1,105	1,520
研究開発費	574	752	489	700

(注) 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	4,996	6,740	5,233	6,930
メルク無形資産償却費	4,140	5,592	4,356	5,810
アイケルビス無形資産償却費	548	736	550	740
その他	308	412	327	380

■研究開発費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	17,895	24,398	17,091	25,000
対売上収益比	10.6%	10.8%	9.9%	10.5%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。